



MEITETSU HOSPITAL



日本医療機能評価機構
認定番号 JCS199号

名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和2年 初夏号



中央臨床検査部のご紹介

撮影：脳神経外科医師 大原 茂幹

本年1月に武漢から発生したコロナウィルス感染症は瞬く間に全世界に拡大し、多くの人の命を奪い、世界中の経済活動が麻痺しています。わが国でも2月に横浜港に入港した「ダイヤモンドプリンセス号」の船内で発症したコロナウィルス感染症は日本中に拡散し混乱をもたらしています。そしてこのコロナウィルス感染症は医療にも甚大な被害をもたらし、多くの病院が経営的に苦境にたっています。幸い、最近のコロナウィルス陽性者は減少の一途をたどり、5月25日には残る北海道・首都圏の5都道府県の緊急事態宣言が解除され、多少日常も戻ってきました。当院もこれまでと変わらずコロナウィルス感染に十分注意を払いながら患者様に対応いたします。地域の先生方にも、入院が必要な患者様には安心して当院を紹介していただける様よろしくお願い申し上げます。



名鉄病院
病院長

細井延行





中央臨床検査部のご紹介



はじめに

中央臨床検査部は、昭和31年に中央検査室として発足し名鉄病院の中でも長い歴史をもつ中央診療施設の一つです。開院当初(125床)は検査員2名で全ての検査業務を行っていましたが、病院の発展とともに設備と検査項目が順次拡充され、現在では30名ほどの臨床検査技師が中心となり年間180万件以上の検査を実施し、院内での診療及び治療に携わっています。また、平成27年には新1号館へ移転し、検体検査部門のワンフロア化が実現しました。さらに機能性を活かすため中央採血室を新設し、臨床現場からのニーズにより正確で迅速に対応できるよう体制の強化を続けているとともに、他のメディカルスタッフと共同し院内のチーム医療にも積極的に参画しています。



【検査部の概要】(2020年4月現在)

- スタッフ数
 - ・医師：1名
 - ・臨床検査技師：29名(非常勤を含む)
 - ・事務員：1名
- 資格・認定
 - ・認定検査技師(病理1名、血液1名、骨髄1名、輸血1名、救急1名)
 - ・国際細胞検査士 4名
 - ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 2名
 - ・二級臨床検査士(微生物2名、病理2名)
 - ・超音波検査士(腹部3名、循環器2名、表在1名)
 - ・緊急臨床検査士4名
 - ・心電図検定(1級1名、3級1名)
 - ・細胞検査士5名
 - ・有機溶剤作業責任者1名
 - ・排尿機能検査士5名
 - ・糖尿病療養指導士 3名
 - ・健康食品管理士 1名
- 施設認定 日本臨床衛生検査技師会精度保証認定施設



●院内検査総件数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
検査総件数	1,526,610	1,623,201	1,689,426	1,706,307	1,748,321	1,83,8041

【2019年～業績(学会発表)】

- ・尿路感染で入院となった糖尿病患者におけるSGLT阻害薬内服の有無および細菌培養結果についての検討
○青木 梓、奥田美穂、池戸政博、神谷高志、安田寛子、横塚陽子、岡本秀樹
『第62回日本糖尿病学会年次学術集会』2019.5 仙台
- ・当院における体腔液検体の機器測定細胞分類目視再検の検証
○赤座久美子 『第18回愛知県医学検査学会』2019.7 愛知
- ・*Wickerhamomyces anomalus* によるCVポート関連血流感染の一例
○池戸政博、奥田美穂、籠徹 『第31回 日本臨床微生物学会総会・学術集会』 2020.1 金沢
- ・輸血用血液製剤の発注方法について(シンポジウム)
○小池 邦恵 『愛知県赤十字血液センター輸血業務担当者連絡会』 2020.1 愛知

【中央臨床検査部 部門】

①**中央採血室**:看護師の協力を得ながら臨床検査技師が中心となり、外来患者さんの採血を1日平均260件実施しています。患者さんに安心して採血をしてもらえるよう接遇の強化と手技の向上に努めています。また採血受付から検査結果報告までの時間(Turn Around Time:TAT)の短縮を目指して業務に取り組んでいます。



②**生理検査室**:心電図検査、肺機能検査、心臓超音波検査、脳波検査などを行っています。放射線科と連携し、患者さんの負担にならないように検査の順番を調整しています。また、病診連携を深めるため地域の診療所にホルター型心電図記録器の貸し出し、解析を行っています。



③**血液・一般検査室**:血液検査では血球数(赤血球・白血球・血小板)、白血球分画、凝固関連検査を行っています。重度な貧血に迅速対応できるよう輸血部門との連携を強化、骨髄検査ではベットサイドへの出向も行っています。一般検査では尿検査、便ヒトヘモグロビン検査、髄液、体腔液(胸水・腹水等)の検査を行っています。用手法の検査が多いため、精度の高い結果報告を目指し知識の共有や習得に努めています。



④**生化学・免疫検査室**:自動分析装置を用いて、血清や尿、体液など多種に渡る検体を分析し、蛋白、糖、酵素などの測定を行っています。また、血液ガス分析、B型及びC型肝炎の抗原抗体検査、梅毒、HIVをはじめとする感染症、甲状腺機能検査、腫瘍マーカーなどの検査も実施しています。さらに、院内で実施していない検査に対応するため、外部委託検査の処理も行っています。外来患者さんの検査結果を迅速に報告するのはもちろんのこと、入院患者さんの検査結果を早朝に病棟へ報告できるよう努めています。



⑤**輸血検査室**:24時間安全な輸血療法が行えるよう自動機器を導入し、血液型をはじめ不規則抗体スクリーニング検査、交差適合試験(クロスマッチ)等の輸血関連検査を行っています。善意の献血によって提供された血液を無駄がでないよう適切かつ有効に使用するため、輸血用血液製剤の発注から自己血までの保管、管理に努めています。また、患者さんに安全かつ適正な輸血療法が行えるよう知識の習得や検査技術の向上にも努めています。



⑥**細菌検査室**:患者さんから採取された検査材料(血液・喀痰・糞便・尿・膿・鼻腔粘膜・咽頭粘膜など)を培養し、起因菌を検索します。起因菌に対し、薬剤感受性試験を行いどの抗菌薬に対し感受性があるかを検査します。抗酸菌検査では塗抹検査を行い結核菌や非結核性抗酸菌の有無を検査し、LAMP法にて結核菌の遺伝子検査を行っています。



⑦**病理検査室**:病理医を中心に組織検査、細胞診検査、病理解剖を行っています。組織検査は手術、内視鏡などで採取された組織検体からHE標本を作製し病理医が検鏡下で組織診断を行います。細胞診検査は、尿、喀痰、腔スミア、体腔液、乳腺、甲状腺、膵胆管などから採取された細胞の標本を作製し病理医の指導の下で細胞検査士が共に診断を行います。病理解剖は、ご遺族の許可を頂いた上で死因を調査、追求しそれを通して研修医の医学教育も行っています。また近年、ゲノム診断の臨床導入と共に病理組織、細胞診検体の二次的利用を考えた検査に対応できるよう検体の取り扱い管理業務にも努めています。

【臨床検査技師が介入している主なチーム医療】

①感染対策チーム(ICT)／抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

検査により得られた結果及び情報などを集約し、感染症の傾向や動向などの把握や感染症防止対策、抗菌薬適正使用を目的として院内感染対策委員会で報告しています。委員会活動では他職種(医師・薬剤師・看護師等)や近隣の医療施設とも連携をとり、患者さんの感染管理や抗菌薬適正使用情報および感染防止技術の向上に努めています。

②糖尿病チーム(糖尿病センター)

糖尿病センターの一員として患者さんの療養指導に携わっています。主に糖尿病教室での講義、血糖自己測定(SMBG)の手指指導、メンテナンス、データ解析を行っています。治療は患者さんと医療者の共同作業と位置づけ療養指導に取り組んでいます。

③栄養サポートチーム(NST)

毎週火、木曜日に栄養サポートチーム(NST)に参加しています。対象患者さんの臨床データを抽出し、栄養状態を短期的に表すプレアルブミンや総リンパ球数、感染の有無を示すCRP、腎障害などを示すCRE、BUN、eGFRなどを前回のデータと比較し報告しています。また、上腕筋囲(AMC)と上腕三頭筋皮下脂肪厚(TSF)の測定をして栄養評価も行っておりNSTの一員として患者さんをサポートできるよう努めています。

④女性泌尿器科・ウロギネセンター

排尿機能検査士の資格をもった臨床検査技師と看護師が医師の指導のもと協力し排尿機能検査を行っています。排尿から排尿終了までの膀胱内圧、腹圧(直腸圧)、排尿筋圧、外尿道括約筋活動、尿量、尿道内圧などを測定して膀胱および尿道の働きを客観的に評価し、下部尿路機能障害の病態を把握しています。患者さんが安心して治療を受けられるように、知識の向上とプライバシーの配慮に努めています。

健康によいレシピ

レンジで作る よだれ鶏

よだれが出るほど美味しいと、この名がついたメニュー。鶏むね肉とにんにくには、疲労回復、免疫力アップ、美肌効果など体に良い効果があります。お好みで下に生野菜をたっぷり敷くのがおすすめ。茹でたまやしや水菜でも美味しいですが、トマトやパプリカ、大葉などの緑黄色野菜を組み合わせることで、豊富に含まれるβカロテンが鼻やのどの粘膜の健康を維持し、細菌やウイルスから体を守るのに役立ちます。



【材料(2人分)】

- 鶏むね肉……………200g
- 料理酒……………大さじ1
- 砂糖……………小さじ1
- 長ねぎ……………1/4本
- しょうゆ……………大さじ1
- 酢……………大さじ1
- 砂糖……………大さじ1/2
- ラー油……………大さじ1
- すりおろしにんにく……………小さじ1
- いりごま……………大さじ1
- 生野菜など……………お好みで

食べて免疫力UP!



【作り方】

1. 鶏むね肉は皮を取り除き、フォークで数か所に穴をあけ、ボウルに入れる。料理酒と砂糖を加えてなじませる。
2. 長ねぎはみじんざりにする。
3. ①を耐熱皿にのせ、ラップをかけ、600Wの電子レンジで3分加熱したら、鶏肉を裏返し、再度ラップをして600Wのレンジで3分、中に火が通るまで加熱する。粗熱を取り、5mm幅に切る。
4. ボウルに②、材料Aを入れ、混ぜ合わせる。
5. 皿に生野菜と③を盛り付け、④をかける。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
 URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
 TEL052-551-6121(代表)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- リウマチ科
- 循環器内科
- 血液内科
- 消化器外科
- 婦人科
- 眼科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 整形外科
- 皮膚科
- 麻酔科
- 消化器内科
- 透析内科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 放射線科
- 呼吸器内科
- 小児科
- 女性泌尿器科
- 病理診断科

診療センター

- 内視鏡センター
- 肝臓疾患センター
- 予防接種センター
- 認知症疾患医療センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 健診センター
- 透析センター
- 糖尿病センター
- ウロギネセンター
- 中耳サージセンター

専門外来 ※予約制(一部を除く)

- 禁煙外来
- ASO外来
- シルバークリニック
- 糖尿病透析予防外来
- 小児慢性疾患外来
- 関節鏡外来
- 小児整形外科外来(月1回・不定期)
- リウマチ膠原病内科
- ペースメーカー外来
- インスリン導入外来
- フットケア外来
- 乳腺外来
- スポーツ外来
- 女性泌尿器科外来
- スポーツ内科(他院から紹介のみ)
- 肝臓外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 乳児健診
- ストーマ外来
- 脊椎外来
- 音声外来(ほか)



1号館前の名鉄病院駐車場について
 平日7時~17時の利用で、来院お見舞いの方は割引サービスが可能です。
 1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
 認証を受けてください。
 また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域
 医療連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部事務1課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711